

平成19年度  
**地区別懇談会開催**

二松学舎大学  
**父母会報**



学長挨拶（九段校舎）



柏校舎会場

平成5年5月10日創刊  
 平成19年10月20日発行  
 (第58号)  
 二松学舎大学父母会  
 (本部)東京都千代田区三番町6番地16  
 (事務局)千葉県柏市大井2590  
 〒277-8585 TEL.04(7191)8756  
 二松学舎大学柏教学課  
 題字は  
 故 観山貞廣常吉先生書



平成十九年度二松学舎大学地区別父母懇談会が、六月三十日(土)の金沢市・岡山市を始めとし、全国十都市(開催日程順に大阪市・東京(九段校舎)・柏市(柏校舎)・甲府市・静岡市・高崎市・山形市・郡山市)で開催された。

今年で十五回目を数えるこの懇談会は、父母会の主要事業の一つとして実施されている。今年も学長・副学長・学務局長・事務局長に加えて両学部長と大学職員が各地に赴き、本学学生の父母に大学の現況、本学の教育方針、将来計画等への理解・協力を求め、併せて学生個々の学習・生活・就職活動等についての説明や報告と意見交換が行なわれた。

九段校舎・柏校舎においては、就職コンサルタントの柳井章氏による、「日本社会における大学生の就職について―親と子の二人三脚とは―」と題した講演会を開催した。企業が学生に求める資質、またそれに対して親は子供をどのように支援すればよいかなどの興味深い内容で、参加した父母の熱心にメモを取る姿が見られた。各会場では、参加者の関心が、学生の履修状況に関すること、就職状況に集中していたことが印象的であった。又、懇談会に出席することにより、大学の姿勢が理解できたとの感想も寄せられた。



六月三十日の石川・岡山地区別懇談会を皮切りに全国各地で懇談会が開催され、父母と大学教職員の交流が行われました。その内容を寄稿していただきました。

# 石川会場

近村 明美

今年度の父母懇談会は、金沢市を皮切りにスタートするということを入学式に知り、参加をとっても楽しみにしてありました。参加して初めて地元での開催は、四年に一度ということを知り、知りたい事が沢山ある初年度に参加できたことを嬉しく思いました。

六月三十日、大山事務局長、菅原柏教学課長において頂き三名の保護者の参加のもと、和やかな会がもたれました。

高校の校長を歴任された大山先生には、小学校教員、図書館司書、学務員の免許状の取得が可能になり、教職の道に就いた時、より活用の広い人材を作る環境を整えていること、百三十周年の記念式典の中身の濃い企画案内、九段集約でのキャンパス拡充、春に流行った麻疹の対処法などお話し頂きました。

菅原柏教学課長のお話は、学年暦、履修、進級、課外活動についてでし



このからも、二松学舎大学の益々のご発展をお祈り致します。

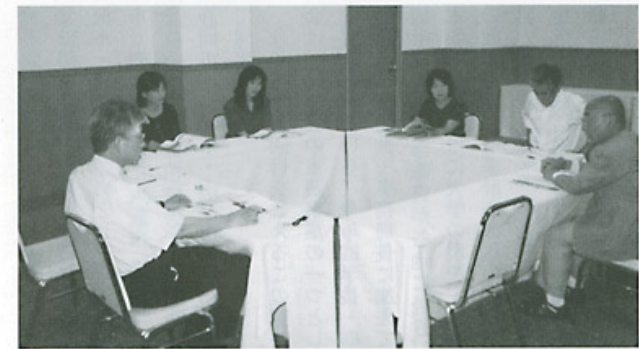
# 岡山会場

佐藤 義亨

二松学舎大学創始者三島中洲先生の出身地岡山で六月三十日、地区別父母懇談会が開催されました。本学から渡辺和則副学長先生・井上和男学部長のご臨席をいただき、広島県一名・香川県一名・地元岡山から二世帯三名の参加がありました。

簡単な自己紹介の後、大学当局から現況(九段キャンパスの整備工事)学部・大学院の学習要項の充実、小学校教員養成を含む各種資格取得の充実、学生たちの学習生活状況(麻疹等)、就職に対する大学のサポート状況あるいは先輩たちの就業状況等について詳しくご説明いただきました。

現在の学部在籍者の出身地域は、東京を中心とした首都圏に集中しています。中四国地方からは二〇名のみで誠に寂しい現状。地方からも進学したい大学、魅力ある大学のイメージカラー、特に九段キャンパスの早期整備などの意見が交わされました。また、時間的距離は短くなったとはいえ、目の届かない所で生活している子どもたちが心配ですし、今後の進学や就職に関心がない親御さ



んはないと思います。サポートセンターを中心に細やかなご指導に感謝申し上げます。

岡山の備中は、中洲先生の古里、十四歳で山田方谷に入門、漢学を修学した聖地。このご縁を大切に、二松学舎大学の益々のご発展と、学舎の子どもたちの研鑽修学を願って止みません。

# 大阪会場

木村 諒

七月一日、大阪市において二松学舎大学地区別父母懇談会が開催されました。

本学より渡辺副学長、井上教学部長に御出席頂き、父母は私共二人の参加となりました。

我々にとって今回の参加は三年前の静岡会場に次いで二度目で、奇しくも渡辺先生には再度の懇談の機会を得、感謝に絶えません(転勤族故の経験ですが、サブライズを頂き感謝申し上げます)。先生方から大学の現況、学生の学習状況や生活、就



職状況等の説明がビデオ放映と併せてなされ、良く理解することが出来ました。

出席者の関係で懇談と個別相談の両方に参加し、前の静岡会場にてキヤリアセンターの充実等を強く要望したエピソードも思い出し、少々「赤面の至り」状態となりました。

これも、各地区の父母会に大学幹部職員の方々が直接出向かれ、身近に膝を交えて父母の悩みや要望等に耳を傾け、適確なご助言を預けた結果だと有難く思っています。

子供は、父母会の出席を「恥ずかしい」とか「目立たないでネ」等嫌がるムキもありますが、父母は全く逆です。

有名マンモス校には無い、父母と大学教職員の方々とのおキメ細かい交流が有ればこそ、遠く離れたキャンパスでの子供の一挙一動がイメージ出来、非常に感謝しております。

今後とも学生数の少ない地区での父母会開催にはご苦労も多いかと思いますが、父母は期待しています。最後に、二松学舎大学及び父母会の益々のご発展を祈願しています。

# 東京会場

大寺 龍彦

七月七日(土)、東京地区別父母懇談会に夫婦で参加させていただきました。梅雨空の中、九段校舎入口で受付を済まし、七階で行われる「個別相談」の控室には、既に十人程の父母の方がおり、三十分程で相談室へ入りました。受付の際にいただいた「履修登録確認表」及び「成績通知書」を参考にしながら、大学生生活

やシラバス等の説明をしていただきました。相談を担当された職員の方がわかり易く丁寧に説明していただいたので、大学に対して親近感を感じました。

昼食は、ランチカードを使い、学食で「体験昼食」をさせていただきました。偶然にも附属高校の橋本校長先生とお会いし、一緒に食事をさせていただきました。本年度から土曜日も授業を始めたとの事で、大学生に混じり附属生が食事をしている姿に新鮮な驚きを感じました。

昼食後は、大学資料展示室や十三階多目的ホールを見学し、百三十年の歴史と近代的施設・設備の充実に関心させられました。

午後一時から、五階五〇七教室にて講演会及び懇談会が開催されました。清水忠父母会長より挨拶があり柳井章氏による「日本社会における大学生の就職について」の講演会、今西幹一学長、野村邦近文学部長、渡辺和則副学長から大学及び各学部の近況報告があり、大学教育の質的向上に向けて、種々の改革を行っているとの力強い説明がありました。

講演会及び懇談会が開催されました。清水忠父母会長より挨拶があり柳井章氏による「日本社会における大学生の就職について」の講演会、今西幹一学長、野村邦近文学部長、渡辺和則副学長から大学及び各学部の近況報告があり、大学教育の質的向上に向けて、種々の改革を行っているとの力強い説明がありました。



# 千葉会場

大場 康也

七月十四日、柏校舎にて地区別父母懇談会が開催されました。当日はあいにくの雨模様でしたが、父母会副会長の星野様によると、百四十名を超える方が参加されたとの事で、私を含めて関心の高さが伺えました。柏校舎の見学、学生生活や成績・就職に関する個別相談など、大学には非常にきめ細かな行き届いた対応が印象的でした。個別相談は予定の時間を大幅に延長して、対応に当たって頂いた大学の職員の方々には頭の下がる思いで、学生達にとって、勉学に勤しむには非常に恵まれた環境にあることを実感できました。

懇談会では今西学長はじめ各先生方から、二松学舎の学部・学科の現状を判り易くご説明頂き、自分の子供からは中々聞けない大学の就学条件など、大変参考になりました。柏校舎は主に一・二年次の学生が大半でしたが、大学からは卒業後の就職に向けて一年次からキャリア教育プログラムを導入して、学生の将来に向けたサポートを実施している状況などをお聞きして、当大学への信頼度が上がった懇談会の内容でした。



各学生達は、この大学のすばらしさを充分認識してもらい、自分の将来に向け、各自の知識・能力を開発する場として捉え、有意義なキャンパスライフを過ごしてもらいたいものです。



# 山梨会場

早川 宏

二松学舎大学は創立百三十周年を迎えた。漢学の泰斗、三島中洲学祖の学統を継承するべく熱意と温情ある師と、志を胸に深く広く真摯に研鑽を続ける学生が今尚健在と聞いていたので、将来混迷の世に光明をもたらす役割を担う可能性があるかと期待していた。しかし実際に如何なる環境で学んでいるかは学校案内書等により想像する他なかった。ところが今回大学からわざわざ甲府まで出向き説明会を開催して頂けると案内があった。日頃の感謝と期待を伝えたく思い申し込んだ。

七月二十一日の説明会当日、父兄が学校関係者と会うのは不安なものである。会場に入ると文学部教授の渡邊学務局長と文芸部の志村教授の長がこやかな笑顔で待っていてくれたので安堵した。

渡邊学務局長は、世界で最も儒教文化が残るとされる韓国文化に造詣が深い。儒教と二松学舎の伝統について、「韓国の儒教文化は失われつつありますが当校には奇跡的に残っています。伝統的に学生は授業前後必ず先生に礼をします。バス乗降の際には先生に先を譲ります。」とお話し頂いた。やがて個別面談となり、志村教授課長には、懇切丁寧に対応して頂き、益々二松学舎大学への信頼と期待が高まった。その後、今西学長も交えしばらくの教育談義に話はずんだ。二松学舎大学の家庭的な温かさと江戸明治の私塾の伝統を確信した学校説明会であった。



私達の学生の頃にはこのような懇談会もなく父母は細部に渡った子供の様子を知る事は出来ませんでした。が、今は学生も父母も恵まれていて実感しました。そんな中で、学生には様々な選択肢の中からのいんな事を学び活用して良い学生生活を送って欲しいです。

最後にこのような場を与えて下さった大学側の皆様に深く感謝いたします。二松学舎大の今後の発展をお祈りいたします。

# 群馬会場

島田 隆

七月二十八日(土)、ちょうど参院選の前日の暑い中で地区別父母懇談会が開催されました。各学年の父母が同数で計二十名が参加しました。

学校側より鈴木国際政治経済学部長、高柳柏教学副部長、馬淵教学係長の三名の方々が出席して頂きました。

まず鈴木先生からは本学の現状の中で十八年度の就職状況、今や日本経済の中で対中国貿易が対米を超えた事、首都圏の大学が郊外型から都市への集中型に流れが変化している傾向、そして二松学舎においても学生の出身が関東近県に集中しつつある事等を説明して頂きました。馬淵係長からは学生の学習状況や学生生活について細部に渡って説明して頂き改めて大学は常に学生の立場に立って細い指導を下さっていると確信しました。

昼食をはさんで午後からはVTRで九段キャンパスと学生生活の様子を拝見しました。その後意見交換や個別相談が行われ、先生方からその都度判り易く説明してもらいました。



# 静岡会場

望月 美智子

七月二十一日(土)、明けやらぬ梅雨空の下、静岡市において十六世帯の父母の出席の中で、地区別父母懇談会が開催されました。本学より大山事務局長、高柳柏教学副部長、山崎柏教学係長において頂き、大学の現況、履修システムや進級・卒業要件の詳しい内容説明と共に、都心回帰の検討がすでに用地の確保・建設へと大きく歩み出しているとの御説明があり、末娘を一人遠方で生活させてきた親としては、我が子には間に合わずとも何かしらホッとするものを感じました。

意見交換の場においては嬉しい意見(要望)を述べさせて頂きましたが、お三方共に大変誠実に対応して下さい、この方達がいらっしゃれば大丈夫であろうと愁眉を聞いた次第です。又、学内の様子を紹介するビデオも見せて頂き、一度伺ったことのある九段校舎の中の詳しい様子や、実際の授業風景の一端を見ることができました。何よりの収穫でした。少子化が叫ばれる中で、定員を越える入学希望者が集中するという現状は細やかな学習指導、生活指導に心



を砕いて下さる多くの職員の皆様の努力と、百三十年の歳月によって積み重ねられた二松学舎の底力によるものと、思いを新たにしたい一日でした。娘はあと半年で巣立つことになりましたが、忘れ得ぬ母校として、今後益々のご発展をお祈りしております。



# 山形会場

鈴木 祐子

七月二十八日(土)、山形市において地区別父母懇談会が開催されました。本学より渡邊学務局長、小西学務課長においでいただきました。

また、保護者は、隣県からの参加者も含め十三世帯の参加となりました。



二松学舎大学は、我が子が切に希望した大学ではありますが、入学式に出席しただけで、私にとっては遠い存在でしかなく、送付していただく広報誌等を読ませていただくことが唯一の情報源であり、楽しみでもありました。昨年宮城会場での開催時に思い切つて地区別父母懇談会に参加し、大学の現況や学生の学習状況及び就職状況等の説明をしていただき、他の方々同様に大学に対する信頼と期待を深めることができました。今年度は地元山形会場開催で、このほか心待ちにしておりました。遠く離れている子を思う親心は同じで、学習だけでなく生活面にも及ぶ質問も出ましたが、その都度事例等を含めて解りやすく説明していただき有難く思いました。また、今年度は創立百三十周年を迎え、歴史と伝統に培われた教育機関であると共に、時代に応じた豊かなカリキュラムやキャリアセンターの取り組みがなされてきた等、細部にも渡る充実した環境で学ぶことの喜びを我が子同様に感じ、感謝に絶えません。

今後も二松学舎大学と父母会のご発展を心よりお祈りいたします。

# 福島会場

田崎 裕子

七月二十九日、郡山市のホテル小野屋において地区別父母懇談会が開催されました。懇談会については父母会報で知り、機会があれば是非参加したいと思つていたところ、息子が四年生の今年、地元福島での開催で、ようやく参加できたという感じがします。当日は、六名の学生の父母が八名参加しました。



大学からは渡邊学務局長、小西学務課長においで頂き、大学の現況や学生の学習状況・学生生活等について、資料を基に丁寧にご説明いただきました。

小学校教員養成や図書館司書課程の設置は、学生の選択肢の広がりを感じ、キャリアセンターでの取り組みは、学生個人を理解し、育て、社会に送り出すようとして下さる道しるべと思えました。お話しを伺いながら、大学が真剣に運営・経営を行っている時代が求まるものを取り入れつつ、伝統を大切にして行こうとしている事が伝わってきて、感激にも似た安心感を覚えました。

意見交換は、和やかな雰囲気の中で行われ、二松学舎の知名度の向上や高名な出身者の紹介の広報を望む声や、校舎設備の充実、大学の今後の方向性等、幅広い意見が出されました。

今回初めて地区別懇談会に参加し、大学のきめ細やかな対応に感謝すると共に、今後も、すばらしい企画を継続して頂ければ...と思えます。有難うございました。

## 日本社会における大学生の就職について

親と子供の二人三脚とは

(株)毎日コミュニケーションズ 柳井 章氏

### 現在の就職環境

#### 新卒の求人状況

ここ三〜四年は、就職しやすくなっている。二〇〇八年卒の求人倍率は二・一四倍、学生一人に対し二・一四社から求人がくることになるが、この数字は、あくまでも平均であり、就職が楽ではないかと思われがちだが、業界別、企業別によって求人状況は違ってくる。目指す業界によっては、非常に厳しい状況下になっており、求人環境がどの様になっているか早い時点で把握しておくことが大事である。

会社の内々定状況をみれば、企業が採用したい学生は、受ければ複数内々定をもらっている。企業も採用意欲はあるが、誰でもいいという訳ではない。

#### 就職戦線は早期化

わりと簡単に決まる先輩の就職活動をみて、自分の就職準備や対応が遅くなっている学生がいる。逆に、企業の採用活動が早くなっているのがギャップが生まれている。学生は、とりあえずエントリーは

するが就職に対する意欲が高まってなく、会社で何をしたいかなど明確に答えられない。早い時期から就職の事を意識させる事が大事であり、就職活動に乗り遅れると、あとでの挽回が難しい。企業に早い時期からエントリーした方がその時期から会社の事を知り、勉強してくれていたという事で内々定を早くもらえる確率が高く、遅くエントリーした学生と見方が違ってくる。十月のこの時期に乗り遅れない様に就職の準備をする。

学生は有名・大手企業指向が多いが、本人の実力ではなく競争率が高いため、その時点で自信をなくしてエントリーしない学生が非常に多いのでリカバリーをどのようにするか、幅広く視野を広げてあげる事が大事である。

#### 就職戦線のスケジュール

企業の内容は、企業サイトや情報誌などで研究するわけだが、なかなか本当の所は見えてこない。インターンシップを体験してみることは有効である。筆記試験は、傾向と対策を早めに準備する。今エントリーシ

### これからの就職対策

#### 就職活動の落とし穴

就職活動が失敗する最大の原因は「準備不足」です。早くから就職の事を意識することです。就職活動を始める前に、自分の適性・能力や業界についての知識など知っておくことが必要です。

#### 正社員とフリーターの違い

やりたい事がわからない学生が多く、大学を卒業して定職につかずフリーターになる学生が多い。またそれを許しているやさしい親が多い。正社員とフリーターの生涯収入差は大きい。まかせられる仕事の内容も違い、社会保障が受けにくく職歴にならないフリーターの現実は厳しいものである。

#### 大学生活について話してみよう

企業は、必ず「大学時代に一番頑張ったことは何ですか?」と聞いてきます。大学時代頑張った中で、自己PRが見つかります。努力・継続した事、そのためにどの様に頑張ったか夢中になった事など考えてみましょう。

#### 積極的に仕事の話をしなすよう

#### 一般的な就職活動の流れ

- ← 就職活動を始めるための準備
- ← 自己分析(自分の強み・弱み)
- ← 業界・職種・仕事研究
- ← エントリー(就職サイトなど)
- ← セミナー・会社説明会参加
- ← エントリーシート提出
- ← 筆記試験(一般常識・適性試験作文)
- ← 面接(3回〜4回)
- ← 集団面接(集団討論)
- ← 最終面接(役員・部長クラス)
- ← 内定

#### 就職活動のポイント

早くから働くことを意識する。本人が働きたいと思わせ、視野



平成十九年度学園祭実行委員会の黒澤達です。さて皆さん今年が何の年かご存知でしょうか？今年は何と我が二松学舎大学が学園の扉を開き一三〇年です。この途方もなき時間の間に育まれた力と知識が今創縁祭にて爆発しようとしています。さらにそれだけでは御座いません。何と今年から創縁祭は、三日間開催となるのです。この時点で最早今年の文化祭は昨年とは一味違うと言えるでしょう。

さて今年のテーマですが、「百三十年、百三十色」となっております。一三〇年間と言う月日があればその間の年毎に全く違う発想や特色が出てくる。そんな意味を成したテーマでありましょう。

本年度も創縁祭にお越しいただく御客様の為様々な企画をご用意しております。創縁祭初日には、様々なジャンルの「超」マニアックな問題を出題し、四択形式で答えてもらおうというクイズ、その名も「クイズ！

ウルトラマニアック！」や参加者にヒーローポーズを決めポーズを取ってもらい、どの決めポーズが一番カッコいいかを競う大会、その名も「超絶！必殺決めポーズ大会！」等があります。さらに二日目は、中洲記念講堂で行われる音楽系団体やパフォーミング系団体が盛り上げる「The 2show」や「芸術祭」、そして二日目の最後に待ち構えているのが芸能人によるお笑いライブ「いとおかし」です。出演者は、テレビ等でお馴染みのスピードワゴン、江戸むらさき、タイムマシーン3号です。サイン抽選会も行われるので是非是非参加して下さい。そして三日目には、去年大変好評を得ました「男子ミス・コンテスト」を今年行います。こちらは男子学生による女装を美しさをインパクト等様々な観点から審査員が採点するという企画です。そして今年の創縁祭の締めは、有名な漫画家でもあります江川達也氏によるトークショーです。こちらもサ

## 二松学舎大学 創縁祭 2007

### 『百三十年、百三十色』


開催日 平成19年11月2日(金)・3日(土)・4日(日)  
場所 九段キャンパス

◆講演会  
11月4日(日) 15時30分～17時  
場所：中洲記念講堂  
出演者：江川達也

◆芸能人ライブ  
11月3日(土)  
17時30分～19時30分  
場所：中洲記念講堂  
出演者：スピードワゴン、江戸むらさき、タイムマシーン3号

◆文化発表・模擬店  
11月2日(金) 11時～15時  
11月3日(土) 11時～17時  
11月4日(日) 10時～15時  
(模擬店は3・4日のみ)

父母会からのお知らせ。  
父母会の無料 休憩所が  
12F 1201号室  
に設けられています。  
ぜひお気軽にお立ち寄りください。  
\* 無料のお茶・コーヒー等をご用意しています \*




を広げることが大事である。一つの手段として、新聞を読みましよう。今日の様な事が起こったか。何が一番大きな事件だったかなど、世の中の事を幅広く知る事が大事である。なかなか就職が決まらない時は、その原因を考える。やりたいことが明確になつていないのか、わからない場合は、やりたくない仕事を削つていく。また多くの業界研究会、会社説明会に行くことや、キャリアセンターを活用することを勧めます。

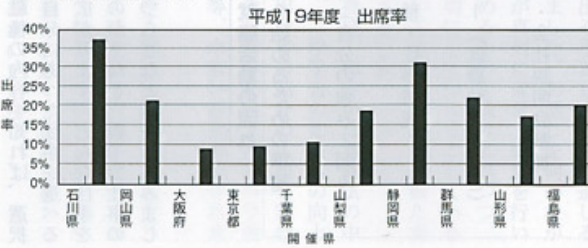
① 目的意識をもって学業に取り組む  
② 固定的でない人との交流の機会を作る  
③ 自分の特徴について意識する。

- ④ 学業以外でも何かに打ち込んだ経験をする。
  - ⑤ 職業について関心を持ち、情報収集を行なう
  - ⑥ 卒業後の職業人生を前向きに捉える。年代や価値観の違う人達とは非交流を深めましよう。
- まとめ
- ・ 早い時期に職業観をもたせる。職業観や職業・仕事に関する話をしてあげて下さい。早めの対応が非常に大事です。
  - ・ ライフプランの刷り合わせ  
応募先の本社所在地、転勤の有無、福利厚生など生活に影響を及ぼす事については、内定後では遅いので早めに話し合う。
  - ・ 活動中は精神的な支えとなる。就職活動が上手くいかない時、話を聞いてあげて下さい。
- 仕事を知るためのテレビ番組です  
□ プロフェッショナル 仕事の流儀 毎週(火) 22時 (NHK)  
□ カンブリア宮殿 (テレビ東京) 毎週(月) 22時  
□ ガイアの夜明け (テレビ東京) 毎週(火) 22時  
□ ワールドビジネスサテライト (テレビ東京) (テレビ東京) 毎週(月) 23時  
(文責・父母会事務局)

平成19年度 地区別父母懇談会学年別出席者数

実施日	曜日	開催地	開催会場	学年	4年	3年	2年	1年	合計	出席率	実出席者数
6月30日	土	石川県	ガーデンホテル金沢	学生在籍数	1	0	6	1	8		3
				父母出席数	1	0	1	1	3	37.5%	3
6月30日	土	岡山県	ホテルエクセル岡山	学生在籍数	3	7	4	5	19		5
				父母出席数	1	1	2	0	4	21.1%	5
7月1日	日	大阪府	大塚ガーデンパレス	学生在籍数	6	2	0	3	11		2
				父母出席数	1	0	0	0	1	9.1%	2
7月7日	土	東京都	本学九段校舎	学生在籍数	200	197	158	191	746		94
				父母出席数	16	39	5	11	71	9.5%	94
7月14日	土	千葉県	本学船橋校舎	学生在籍数	293	216	225	222	956		139
				父母出席数	10	10	27	52	99	10.4%	139
7月21日	土	山梨県	甲府ワシントンホテルプラザ	学生在籍数	3	0	2	6	11		3
				父母出席数	0	0	1	1	2	18.2%	3
7月21日	土	静岡県	静岡グランドホテル中島	学生在籍数	16	6	16	11	49		21
				父母出席数	4	0	5	6	15	30.6%	21
7月28日	土	群馬県	高崎ワシントンホテルプラザ	学生在籍数	29	13	24	12	78		20
				父母出席数	5	4	5	3	17	21.8%	20
7月28日	土	山形県	山形国際ホテル	学生在籍数	22	16	22	16	76		17
				父母出席数	2	2	5	4	13	17.1%	17
7月29日	日	福島県	ホテル西小野	学生在籍数	7	7	9	7	30		9
				父母出席数	3	2	0	1	6	20.0%	9
				在籍数合計	580	464	466	474	1984		
				出席者合計	43	58	51	79	231	11.6%	313

※実出席者数欄は、同席が出席の場合は2人として計算。



「平成十九年度地区別父母懇談会を終えて」  
六月三十日(土)、石川会場(ガールズホテル金沢)・岡山会場(ホテルエクセル岡山)の開催をもって、平成十九年度の地区別父母懇談会すべての日程を終了しました。

開催された十会場の全出席者は、二三名、全会員の11・6%の出席率でした。在籍数に対する割合を開催別に見ると、石川県37・5%、岡山県21・1%、大阪府9・1%、東京都9・5%、千葉県10・4%、山梨県18・2%、静岡県30・6%、群馬県21・8%、山形県17・1%、福島県20・0%となりました。

地方が高く首都圏に近いほど低いという出席率の傾向は今年も変わりませんでした。

これからの会員の皆様のご意見を聞きながら、来年度に向けて地区別父母懇談会の内容を検討していきたいとおもいます。



# 第11回 中国語学研修 報告

## 語学研修報告

北京大学歴史学系での語学研修も本年で十一回目を迎えた。八月二十三日から九月十二日までの二十一日間、二十名の学生が参加し、文学部酒井淳吉教授、武永尚子教授が引率した。

北京大学は中国の首都北京市に位置する国立の総合大学で、一九九九年に協定を締結した。本研修を始め、交換留学生や教職員の相互派遣など、活発な交流を展開しており、本年五月には本学今西幹一学長らが表敬訪問し、同大許智宏学長との会見を果たした。

本研修プログラムは本学専用に組まれたもので、午前中は十名ずつの少人数クラスで中国語の授業を受け、午後は歴史や文化に関する講義、名所旧跡見学、伝統芸能鑑賞など豊富な内容である。さらに、



北京、頤和園にて

北京大学在學生との交流会、教員宅訪問といった日常生活に触れる機会も設けている。初めは環境の変化に戸惑う学生も見られたが、「中国語・中国文化漬けの充実した毎日だった」、「通常の旅行では得がたい貴重な体験ができた」など、満足したことが伺える感想が寄せられている。中には検定試験や派遣留学といった新たな目標を設定して、さらなる学習意欲を示す学生もあり、これも本研修の効果の一端といえる。事実、本年度派遣留学生として、北京大学へ一名、中国文化大学(台湾)へ二名が赴いたが、三名ともかつて本研修に参加した学生である。来年も多くの学生の参加を期待している。

(国際交流センター 田村悠)

## 「中国語学研修に参加して」

文学部国文学科 三年

前川 博美

今回の研修は初めての海外で出発前は不安で仕方がなく、三週間という期間がとて長く感じられた。しかし北京空港に降り立つと至る所に中国語で表記された看板があり、一転して楽しくなった。

日本語がなく、日本語が通じない。それは中国語を学ぶ上で一番必要な環境なのだと実感した。その環境で生活するのはさぞ大変だろうと思っていたが、北京大学内は驚くほど和やかで直ぐに生活にも慣れることができた。大学にいるのに街中のように賑やかで過ごしやすく、肩透かしを食らったような気分だったが、北京大学には勉強するのにとてもいい環境が整っていた。

しかし全て中国語で進められていく授業には戸惑いを隠せなかった。先生の言っている意味が全くわからず、周りの子に助けをもらいながらなんとか必死でしがみついていた。漸く単語が聞き取れるようになっていった。そのうち慣れてくると道行く人の会話に授業で習ったフレーズが含まれていることに気づき「おっ」と思い、更にそれに気づいた自分



も「おお」と感動した。言葉が通じないという壁はあったが電子辞書を片手になんとか自分の言いたいことを相手に伝える。初めはそれが苦で、伝わらないことに落ち込みもしたが、少しでも現地の人との会話が成立すると感動した。落ち込んだ分、余計に言葉が通じたときは嬉しい。

それが日を追うごとに増えていくと自分から話してみたいという衝動にかられ、つい最近まで嫌だったのにと不思議な気分になった。三週間という短い期間で私はすっかり中国に馴染んでいった。次に行く時のために中国語にもっと磨きをかけたいと思う。

# キャリアセンターだより

大学は九月二十一日から、いよいよ秋セメスターが始まりました。四年生の就職活動状況については、企業への内定率は八〇〇程度となっており、(九月十日現在)この数字は、昨年同時期と比較して十%上回っていますが、しかし未内定者が二〇%程度いることも事実です。

辛い企業の求人意欲は現在も高く、今も本学の学生を採用したいと、採用担当者が連日キャリアセンターに来訪しております。未内定学生には、キャリアセンターからも連絡をいたしますが、なかなかキャリアセンターに来ないのが実状です。ご父母からも、キャリアセンターに来るようご指導下さい。今なら、まだ就職は可能なのです。教員・公務員不合格で企業就職希望者も同様です。キャリアセンターでは、万全の体制で支援いたします。

さて、三年生については、いよいよ就職活動の最終準備期間となります。十月一日には、各企

業が三年生向けに、企業情報をパソコンのインターネット上の公開がスタートします。そして年明けの二月には採用活動が本格化するのです。

就職活動で希望企業に内定するには、様々な具体的準備が不可欠です。その対策を、キャリアセンターでは四月から実施しています。

秋セメでも実施いたしますので、(木曜・三・四)懇談会に参加するようご指導願います。

二年生・一年生をお持ちの父母の方には、次のことをお願いいたします。

(1)子供が大学の授業をどのようにとっているか、大学生活をどう送っているかを把握して下さい。

(2)大学卒業後のことについて、子供はどう考えているか、話し合ってください。その際に親の気持ちを押し付けしないで下さい。アドバイスは大きい結構です。

(3)毎日を大切に送るようお話し下さい。「就職」とは、ある日突然始まるものではありません。日々の生活の延長線上にあるのです。

# 学生相談室

だより 58

カウンセラー・教授 白石まりも

暑い暑い夏がやっとと終り、秋の気配のする頃、学生が大学に戻って来ます。秋セメのスタートです。お子さんと過ごした夏休みは、いかがでしたでしょうか。

フィギュアスケートの真央ちゃん、ハンカチ王子・八二カミ王子。十代の優れたアスリートがTVに映し出されると、つい我が子と比べてしまおう方が多かったです。

TVで見るとは、お行儀が良く、素直で明るく、世のおじさま・おばさまの心を掴み、スポーツ人気を大いに盛り上げてくれました。TVで「真央ちゃんが娘だったら、毎日まっすぐ家に帰る!」という声を聞いた事があります。

さて、我が家の王子・王女様は、休みの日は昼過ぎまで寝ていて、午後から遊びに行き、夕方帰って来る。週七日、バイトを入れて、顔を見ていない、等々。真央ちゃんや王子になってほしい!とは言わないが、勉強やスポーツに打ち込んで、学生生活を有意義に過ごしてほしい、という親の願いは届いてほしい。

ていない様子。時として、教員の言葉ですら電源offにしている学生がいます。そして、自分が本当に危機的状況となって初めて「どうしたら良いでしょうか?」とやってくる。親として、教員として、つい「あなたが悪い!」と責めてしまいがちですが、自分の事を振り返ってみて下さい。親の言う事を素直に守って行動していたでしょうか? 転ばぬ先の杖は、いくつの中から持っていましたか?(私は未入手です。転んで起きて、また歩く!そうやって、大人になつてきたのではないのでしょうか。しかし、誰もが転んでくぐに、立ち上れる訳ではありません。)

「情けない、こんな事くらいで!」と叱らずに、立ち上れるよう手助けをしてあげなくてはいけない時もあるでしょう。

子供叱るな、いつか来た道親を叱るな、これから行く道少し辛くなったら、学生相談室を思い出して下さい。







### 二松学会大学創立130周年記念

#### 国文学シンポジウム

漱石研究の継承と可能性―

「こころ」を中心に

日程

- 第1回 10月13日(土) 14時～16時  
『近代文学研究の展開とこころ』  
内田道雄(東京学芸大学名誉教授)
- 畑有三(専修大学名誉教授)
- 平岡敏夫(筑波大学名誉教授)
- 第2回 11月24日(土) 14時～16時  
『教科書と漱石』

- 佐藤泉(青山学院大学准教授)
- 関谷一郎(東京学芸大学教授)
- 野中潤(聖光学院中学・高等学校教諭)
- 藤井淑禎(立教大学教授)
- 第3回 12月15日(土) 14時～16時  
『新しい視点と方法』

- 生方智子(二松学会大学非常勤講師)
- 佐々木英昭(龍谷大学教授)
- 柴田勝二(東京外国語大学教授)
- 増田裕美子(二松学会大学教授)
- 会場：九段校舎 401教室
- ※お問合せ：二松学会大学【教学課】
- 各回定員150名(申込不要、先着順)

#### 第3回シンポジウム『論語』

近代ブームの江戸文化と、江戸期に学術以外の分野でも流行を見せた『論語』との関わりを各分野から明らかにしたい。また、時代文化の底辺までしみこんだ経学とは別の日本的『論語』受容に視点を当て、古典と現代との関わりについて模索する糸口を探る。

日時：11月23日(金・祝)

10時～16時45分

会場：中洲記念講堂

テーマ：江戸と『論語』

シンポジウム概要

特別講演：「江戸のこころ」

徳川恒孝(斯文会名誉会長・徳川記念財団理事長)

報告

- ①小島康敬(国際基督教大学教授)「获生徂徠と『論語』」
- ②青山忠一(本学名誉教授)「『論語』にみる素顔の孔子像」
- ③神立春樹(岡山大学名誉教授・元本学国際政治経済学部教授)「近代日本の漢学学校」

- ④越川禮子(株式会社インテリジェンス・サービス取締役社長)「『論語』と江戸しぐさ」

※お問合せ：二松学会大学【学務課】

#### 国際シンポジウム

日本と東アジアの協調と競争

日時：12月1日(土)

12時30分～18時30分

会場：中洲記念講堂

主催：二松学会大学

共催：日本貿易振興機構・日中経済協会・米国外務省東京アメリカンセンター

後援：海外投資情報財団・香港貿易発展局・台湾貿易センター・在日米商工会議所・(財)交流協会

・国際政治経済セッション

・国際ビジネスセッション

・分科会

※お問合せ：二松学会大学【柏教学課】

#### 世界テコンドー大会に出場

文学部国文学科四年の見片直人君が、平成十九年四月に国立代々木競技場で開かれた第十八回全日本テコンドー選手権大会において、マッソギ(組手)マイクログ級男子個人優勝、トゥル(組手)男子団体準優勝、マッソギ(組手)男子団体三位と優秀な成績をあげ、世界テコンドー大会への出場権を獲得した。

見片君は四月二十四日から五月一日までの、スロベニア・ブレッドで開催された「第十五回世界テコンドー選手権大会」に出場した。今後さらなる健闘をお祈りします。



左 見片直人君

#### 編集後記

父母会報第58号をお届けします。夏休みに全国10会場で父母懇談会を開催。実参加313名。内訳、東京94、千葉139、静岡21、群馬20、山形17、福島9、岡山5、石川3、山梨3、大阪2。開催必要経費約133万円。通信費等含め計約180万円。一人参加したために約5,800円かかりました。経費の片寄りの問題は残り残りました。

各会場の報告原稿有難うございました。又、東京・千葉ではアンケートをとりました。回答97(82)。それによれば、個別相談を受けた方18(20)、学食体験84(77)、味がよい37(32)、値段が普通と安いで75でした。又、自由記入については、77の記入を次回に紹介します。( )の数字は昨年度。さて、本学の「創縁祭」は、11月2日(金)、3日(土)、4日(日)です。父母会は毎年参加。今年は12F会議室。お茶とおしゃべり、特に「何でも相談」です。役員がお愛想顔で待っています。毎年200名以上登ってきたくれます。又、総会で凍結となつた卒業アルバム配布の件、文化祭で希望の有無を学生にアンケートします。又、父母の意向も父母会報送付の折にうかがうハガキを同封する予定です。では健康の秋を!!